

今日の給食は、鮭の塩焼き、小松菜のおひたし、わかめとじゃがいもの味噌汁、ご飯、牛乳でした。多くの皆様が学校給食のお世話になったことがあると思いますが（わたくしは、今でもお世話になっております。ありがたいことです）、ところで、学校給食の由来についてご存じですか？給食日より「いただきます」によると、日本の学校給食は、明治22年に山形県鶴岡市の小学校で、昼食を持参することができない子供たちに昼食を提供したことが始まりと言われているとのこと。一度は、戦争のため中止になりましたが、戦後、海外からの援助物資等により再開されたそうです。その日が12月24日（クリスマスイブですね！素敵なプレゼントかも？）だったそうです。ちなみに、1月24日は「給食記念日」です（本来であれば給食を再開した12月24日なのですが、その時期から学校はお休み。そこで、1か月後の1月24日にしたらしい）。給食センターでは、「給食記念日」にちなんで、明治22年、学校給食が始まった当時の献立「鮭の塩焼き、おにぎり、青菜の漬物」を現代風に再現したそうです。わたくしたちの命の源である「食」。いつの時代でも感謝していただきたいと感じています。

